

お客様各位

2015年3月23日
アルテリア・ネットワークス株式会社

SSL 3.0 脆弱性に関する対応について

インターネット通信で使用される暗号化方式「SSL3.0」において、通信の一部が第三者に解読可能となる脆弱性が明らかになったと報道されております。当社のホームページ及びお客様用サイトは、「SSL3.0」の次のバージョンである暗号化方式「TLS」に対応しております。

弊社が管理するホームページでは、本脆弱性への対応といたしまして、「SSL3.0」による通信を無効とする処置をいたしました。この処置により、お客様のご利用のブラウザによっては、「ページを表示できません」などのメッセージが表示される場合がございます。

そのため、ご利用のブラウザにおいて「SSL3.0」をご使用の場合は無効化し、「TLS」をご使用いただくことで、当社ホームページに限らず安心してインターネットをご利用いただけます。

Internet Explorer を例に「SSL3.0」を無効化する設定について下記にご案内いたしますので、あわせてご参照ください。その他のブラウザの設定については、各ブラウザのサポートへお問い合わせいただけますようお願い申し上げます。

「SSL 3.0」の脆弱性対策については、詳しくは独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）のサイトでご覧いただけます。

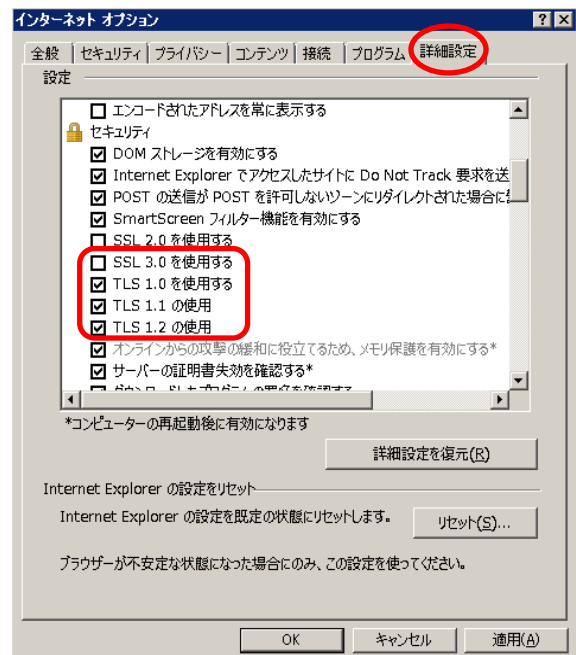
SSL 3.0 の脆弱性対策について(CVE-2014-3566)

<https://www.ipa.go.jp/security/announce/20141017-ssl.html>

◆設定変更方法

Internet Explorer

1. Internet Explorer の[ツール]メニューの [インターネット オプション] をクリックします。
2. [インターネット オプション] ダイアログボックスの [詳細設定] タブをクリックします。
3. [セキュリティ] で、[SSL 3.0 を使用する] のチェックボックスをオフにし、[TLS 1.0 を使用する] [TLS 1.1 の使用]、および[TLS 1.2 の使用] のチェックボックスをオンにします。
4. [適用] をクリックし、次に[OK] をクリックします。



以上